

## 文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	栃木県野木町	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	「野木町煉瓦窯」を活かした地域活性化プロジェクト計画		【計画の改善時期】 平成 年度
4 実施計画期間	平成 28 年度 ～ 平成 33 年度		
5 実施計画の概要			
<p>野木町では、「水と緑と歴史のまちづくり基本構想」及び「重要文化財 旧下野煉化製造会社煉瓦窯 保存活用計画」に基づき、野木町の貴重な文化遺産を保護するとともに、野木町煉瓦窯と周辺の歴史文化資産を結ぶ公開活用・各種イベント・煉瓦窯の文化的価値の普及啓発などを行うことにより、次世代への継承・発展や地域の活性化を図る計画としている。</p> <p>この地域は歴史的にも古くから栄えた地であり、古代の集落を証明する多くの縄文・弥生式土器、貝塚の出土からも証明されている。中世は鎌倉幕府開府につながる「野木宮合戦」の舞台となり、同地にある「野木神社」はその時以来の歴史を刻み、町名の由来ともなっている由緒ある神社で多くの文化財も有している。江戸時代には「野渡河岸」と称する利根川水系の要所があり、江戸との交通拠点でもあった。</p> <p>明治期に入るといち早く近代化産業の拠点となり、地元有志による殖産興業「新井製糸所」、さらに明治21年には「下野煉化製造会社」が設立され、翌23年には、現存の「ホフマン式輪窯」が完成した。そして昭和47年に実動停止となり、昭和54年には「国指定重要文化財」、平成19年には野木町の所有となり、経済産業省より「近代化産業遺産」に認定された。また、その設立者の一人であり製糸会を営んでいた新井家には、赤煉瓦蔵などが残っており、国の有形登録文化財に認定されている。</p> <p>「野木町煉瓦窯」は、ドイツ人技師フリードリヒ・ホフマンにより設計された輪窯といわれる様式で、野木町の輪窯は、焼成→冷却→窯出しを繰り返し連続して焼ける円形の窯で、現在日本に残っているホフマン式煉瓦窯4基（深谷市、舞鶴市、近江八幡市、野木町）の中でも、ほぼ完全な形で残っており、円形の美しい形式のものは日本で唯一である。また、世界でも現存するものは殆ど無く、ホフマンの生地であるドイツ国内でも2～3基しか残っていないという貴重な遺産である。深谷市の「日本煉瓦製造株式会社」とともに、東京駅舎をはじめ日本の近代化建築の花形となった赤煉瓦建造物を支える大きな原動力となった。関東大震災や東日本大震災にも倒壊を免れ、建築構力学上もたいへん優れており、建築学界でも関心が高まっている。</p> <p>平成19年からは、野木町の所有「野木町煉瓦窯」となり、文化庁や栃木県の補助も受け、平成23～26年の4年間をかけて修理が完成した。そして、現在煉瓦窯の資料館も兼ねた「野木ホフマン館（野木町交流センター）」を平成28年5月に開館し、「野木町煉瓦窯」も一般公開を行っている。</p> <p>そこで、平成28年の「野木ホフマン館」開設を機に、近代化文化遺産「野木町煉瓦窯」の情報発信・人材育成・普及啓発事業・記録作成に積極的に取り組み、「野木町煉瓦窯」の魅力を全国に発信し、未来に向けた野木町の基軸として新たな観光交流拠点づくりを推進していくプロジェクトを立ち上げた。2020年の東京オリンピックを見据えたこの取り組みで、地域住民が主体となり、持続的な観光振興と地域活性化の運動の確立するプロジェクトであり、下記の取り組みを実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 情報発信事業（平成28年度～平成33年度）</li> <li>2 人材育成事業（平成28年度～平成33年度）</li> <li>3 普及促進事業（平成28年度～平成33年度）</li> <li>4 調査研究事業（平成28年度～平成33年度）</li> <li>5 記録作成事業（平成28年度～平成33年度）</li> </ol>			
6 実施体制			
<p>野木町が、本実施計画に係る全体の企画・調整や、各補助事業に係る指導等を行う。主な担当課、役割は下記のとおり。</p> <p>教育委員会事務局生涯学習課：各補助事業における文化財の取扱等に関する指導・調整等 産業建設部産業課：観光業務に係る連携等 また、補助事業は次の団体が実施する。</p> <p>「野木町煉瓦窯」を活かした地域活性化プロジェクト実行委員会（実行委員長：真瀬宏子） 構成団体（野木町、野木町教育委員会、野木町観光協会、野木町公民館野木学区分館、野木町生涯学習ボランティア連絡会、野木町煉瓦窯を愛する会、野木町国際交流協会、新井家ふるさと記念館）</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成30年度交付決定額： 15,398 千円	平成31年度申請額： 3,632 千円
	(2) 実施事業の概要	別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<p>町民に野木町煉瓦窯の希少性や重要性を再認識してもらうことにより、地域の文化遺産に対する関心や意識が向上し、地域全体で文化遺産を保存・継承し、活用していくための活動への参加や地域の活性化が期待できる。また、行政と民間の協働体制が構築されるとともに、野木町煉瓦窯を核とした地域の文化遺産などへの来場者50,000人（年間）を目指す。</p>			

10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）	
事業概要：	
事業概要：	
事業概要：	
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等	
<p>本事業の実施により地域住民と一体となって地域の文化遺産を保存・活用を図る機運を醸成ができてから計画策定の検討を行う。</p>	
12 担当部局	
地方公共団体 担当部局課	野木町教育委員会事務局生涯学習課（生涯学習係）

## 7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 1 :	地域の文化遺産関係資料館、博物館等の年間入館者数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 1 :	野木ホフマン館 (野木町交流センター) 来場者数			関連事業:	①③	
目標値 1 :	【現状値】 平成 28 年度 25,000 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 50,000 人					
設定根拠 1 :	平成28年度目標値を毎年度20%増を見込み、来場者の倍増を設定					
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	
52,821 人	45,287 人	87,214 人	人	人	人	
111%	81%	249%				
目標区分 2 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 2 :	地域の文化遺産への来場者数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 2 :	野木町煉瓦窯見学者数			関連事業:	①②③	
目標値 2 :	【現状値】 平成 28 年度 10,000 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 20,000 人					
設定根拠 2 :	平成28年度目標値を毎年度20%増を見込み、来場者の倍増を設定					
進捗状況 2 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	
23,159 人	18,256 人	17,510 人	人	人	人	
132%	83%	75%				

## 8 (2) 実施事業の概要 別紙

事業①：	野木町煉瓦窯解説リーフレット制作事業	実施団体：	「野木町煉瓦窯」を活かした地域活性化プロジェクト実行委員会			
事業区分：	情報発信	事業期間：	平成 31 年度 ~ 平成 33 年度			
事業概要：	野木町煉瓦窯の特徴であるホフマン式煉瓦窯の構造を紹介するリーフレットを作成する。煉瓦窯周辺の文化財紹介を入れて回遊を図る。インバウンド対応のため日本語版の他に英語版も作成する。 A 4 三つ折り、日本語版10,000部、英語版2,000部					
評価指標区分：	・その他			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	野木ホフマン館（野木町交流センター）来場者数					
目標値：	【現状値】 平成 28 年度 25,000 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 50,000 人					
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	
52,821 人	45,287 人	87,214 人	人	人	人	
111%	81%	249%				
事業②：	野木町煉瓦窯ガイド養成講座事業（英語版、日本語版）	実施団体：	「野木町煉瓦窯」を活かした地域活性化プロジェクト実行委員会			
事業区分：	人材育成	事業期間：	平成 28 年度 ~ 平成 33 年度			
事業概要：	平成28年度、野木町煉瓦窯を核とした地域の文化遺産ガイドの育成事業を開催した。平成29年度から発展的に、英語版ガイド養成講座を開催する。引き続き、日本語版養成講座も開催しガイドの育成、増加を図る。 【ガイド養成講座 英語版】 ・初級編、中級編 ・講師：ALT等  【ガイド養成講座 日本語版】 ・講師：野木町煉瓦窯を愛する会会員等					
評価指標区分：	・ボランティアガイド利用者数			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	ガイド利用者数					
目標値：	【現状値】 平成 28 年度 3,000 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 6,000 人					
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	
11,580 人	9,128 人	8,755 人	人	人	人	
286%	204%	192%				

事業③：	第2回野木町文化遺産フェスティバル実施事業	実施団体：	「野木町煉瓦窯」を活かした地域活性化プロジェクト実行委員会			
事業区分：	普及啓発	事業期間：	平成 30 年度 ～ 平成 33 年度			
事業概要：	<p>野木町文化遺産フェスティバルを実施、平成30年度実施「野木町文化遺産フェスティバル」の後継、発展形イベントと位置づけ、野木町煉瓦窯が実際に稼働していた頃を知る方7名程度によるパネルディスカッションを開催。往年の野木町煉瓦窯の様子を町民および全国からの来場者に理解を深めてもらう。</p> <p>同時にパラパラアニメ制作イベントを実施。事前に募集する野木町内の小中学生の他、一般応募者が描いた文化財の絵を会場に持ち寄りパラパラアニメを制作しその場で放映する他、その後の施設紹介などで活用する。また、地域の文化遺産の特別公開などを実施し、野木町の文化遺産に親しんでもらう。</p> <p>【第2回野木町文化遺産フェスティバル】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラム：パネルディスカッション、野木町煉瓦窯パラパラアニメの放映、地域の文化遺産の特別公開</li> <li>・出演者案：パネルディスカッション／一般市民より募集、伝統文化ステージ／野木神社太々神楽保存会</li> </ul> <p>【伝統文化ステージ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・野木町に伝わる郷土芸能・野木神社の太々神楽を披露する</li> </ul> <p>【パラパラアニメ制作イベント】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・野木町内の小中学校（7校）の他、一般参加団体より煉瓦窯の他文化財の絵20枚程度を募集。イベント当日に持ち寄り、その場でパラパラアニメ動画にして上映会を実施。動画データはインターネットで公開するなど今後の文化財紹介に活用する。</li> </ul> <p>【地域の文化遺産の特別公開】7月と10月（2回開催）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・野木町煉瓦窯や旧新井製糸場事務室・漆喰蔵・煉瓦蔵（新井家ふるさと記念館）などと連携し特別公開を開催する。</li> </ul>					
評価指標区分：	・その他			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	野木ホフマン館（野木町交流センター）来場者数					
目標値：	【現状値】 平成 28 年度 25,000 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 50,000 人					
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	
52,821 人	45,287 人	87,214 人	人	人	人	
111%	81%	249%				